

平成21年9月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社 フルキャストテクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.fc-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 貝塚 志朗
 (氏名) 塚原 進午

TEL 03-4577-0200

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	5,308	△21.7	290	—	285	—	58	—
20年9月期第3四半期	6,781	4.7	△111	—	△111	—	△118	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	1,040.69	—
20年9月期第3四半期	△2,091.78	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
21年9月期第3四半期	3,161	—	2,321	—	73.4	40,994.78
20年9月期	4,072	—	2,262	—	55.6	39,951.85

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 2,321百万円 20年9月期 2,262百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	—	500.00	—	0.00	500.00
21年9月期	—	0.00	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	△26.2	150	—	141	—	0	—	0.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第3四半期 56,628株 20年9月期 56,628株

② 期末自己株式数 21年9月期第3四半期 一株 20年9月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年9月期第3四半期 56,628株 20年9月期第3四半期 56,621株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報に記載のとおりであります。

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、世界的な金融不安による株価下落、為替相場の急激な変動、世界同時不況により、景気が急激に後退しました。雇用情勢につきましても景気後退に伴い、非正規従業員を中心とした雇用環境は悪化しております。

当社の主要顧客である製造業におきましては、景気後退により大幅な減産・在庫調整、設備投資の抑制や雇用調整等の実施をする企業が増加しております。

当社の営む人材アウトソーシング事業におきましては、景気の後退に伴い顧客企業との派遣契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等、非常に厳しい外部環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、雇用維持・確保を前提に人材の育成にも注力し、付加価値の高い人材サービスの提供をすることで顧客企業のニーズに対応してまいりました。

売上高につきましては、昨年2月に株式会社エグゼコムコミュニケーションズの事業の譲受けにより事業開始いたしましたN&Sソリューション事業の売上高が寄与したものの、主力事業であるエンジニアアウトソーシング事業において、顧客企業における企業収益の後退に伴い、人材アウトソーシングのニーズが後退し、新規派遣契約の減少、契約更新の打ち切りに伴う稼働人員の減少に加え、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等により減収となりました。

利益につきましては、雇用確保を前提におきつつも、採用人数の抑制や、待機技術社員の休業措置、賞与支給率の引下げ等による人件費の削減、採用費用の削減、G.E.Tプログラム(※)の一時休止に伴う教育研修費の削減、寮の集約化等による家賃地代の削減、その他諸費用についても大幅な削減の取り組みにより、前年同期の実績を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高5,308百万円(前年同期比21.7%減)、営業利益290百万円(前年同期は111百万円の営業損失)、経常利益285百万円(前年同期は111百万円の経常損失)、四半期純利益58百万円(前年同期は118百万円の四半期純損失)となりました。

※G.E.TプログラムとはGlobal Engineer Training programの略で、日本人留学生および外国籍の技術者を対象として、採用および独自のプログラムに基づく研修の実施を行い、付加価値の高いエンジニアの採用・育成を実施する制度であります。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は3,161百万円(前事業年度末は4,072百万円)となり910百万円減少いたしました。

主な要因は、四半期純利益58百万円の計上により利益剰余金が増加したものの、現金及び預金の減少179百万円、売掛債権の減少524百万円、のれんの償却および減損により、のれんの減少156百万円によるものであります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,260百万円(前事業年度末は2,897百万円)となり637百万円減少いたしました。

主な要因は、現金及び預金の減少179百万円、売掛債権の減少524百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は901百万円(前事業年度末は1,175百万円)となり273百万円減少いたしました。

主な要因は、のれんの償却および減損により、のれんの減少156百万円、社員寮解約により敷金・保証金の減少51百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は840百万円（前事業年度末は1,810百万円）となり969百万円減少いたしました。

主な要因は、短期借入金の返済による減少394百万円、賞与引当金の減少359百万円によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は520百万円（前事業年度末は1,441百万円）となり921百万円減少いたしました。

主な要因は、短期借入金の減少394百万円、賞与引当金の減少359百万円によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は320百万円（前事業年度末は368百万円）となり48百万円減少いたしました。

主な要因は、長期借入金の返済による減少74百万円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は2,321百万円（前事業年度末は2,262百万円）となり59百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益増加に伴う利益剰余金58百万円が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末より178百万円減少し、923百万円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は340百万円となりました。これは主に賞与引当金359百万円の減少があったものの、税引前四半期純利益115百万円の計上および売上債権の減少519百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は49百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出17百万円、無形固定資産の取得による支出32百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は469百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出394百万円、長期借入金の返済による支出74百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年4月27日付の当社「平成21年9月期 第2四半期累計期間および通期業績予想の修正ならびに特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ」にて公表いたしました業績に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

- ・ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価基準に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③ 「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する会計年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	823,594	1,002,836
受取手形及び売掛金	716,377	1,240,433
有価証券	200,526	100,159
仕掛品	6,525	10,581
未収還付法人税等	—	107,774
繰延税金資産	181,265	272,751
その他	336,318	165,951
貸倒引当金	△4,392	△3,196
流動資産合計	2,260,216	2,897,292
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,983	33,386
工具、器具及び備品（純額）	45,710	49,554
有形固定資産合計	57,693	82,940
無形固定資産		
のれん	278,421	434,841
その他	51,639	26,230
無形固定資産合計	330,061	461,071
投資その他の資産		
投資有価証券	0	99,462
破産更生債権等	6,915	2,275
敷金及び保証金	347,585	398,736
その他	166,339	133,082
貸倒引当金	△6,915	△2,275
投資その他の資産合計	513,925	631,280
固定資産合計	901,681	1,175,292
資産合計	3,161,897	4,072,584

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,898	69,600
短期借入金	99,952	494,432
未払法人税等	10,744	—
賞与引当金	104,954	464,000
その他	275,644	413,892
流動負債合計	520,193	1,441,925
固定負債		
長期借入金	66,656	141,600
退職給付引当金	253,595	226,666
固定負債合計	320,251	368,266
負債合計	840,445	1,810,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,500	863,500
資本剰余金	734,700	734,700
利益剰余金	722,915	663,983
株主資本合計	2,321,115	2,262,183
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	336	209
評価・換算差額等合計	336	209
純資産合計	2,321,452	2,262,393
負債純資産合計	3,161,897	4,072,584

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	5,308,458
売上原価	3,794,353
売上総利益	1,514,105
販売費及び一般管理費	1,224,040
営業利益	290,064
営業外収益	
受取利息	1,664
受取配当金	306
還付加算金	3,301
その他	1,223
営業外収益合計	6,495
営業外費用	
支払利息	9,138
為替差損	1,166
その他	1,126
営業外費用合計	11,430
経常利益	285,129
特別利益	
受入助成金	180,188
特別利益合計	180,188
特別損失	
固定資産除却損	1,746
減損損失	85,059
雇用調整支出金	248,211
その他	14,391
特別損失合計	349,408
税引前四半期純利益	115,910
法人税、住民税及び事業税	9,251
法人税等調整額	47,726
法人税等合計	56,977
四半期純利益	58,932

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	1,326,969
売上原価	1,024,262
売上総利益	302,707
販売費及び一般管理費	373,273
営業利益	△70,565
営業外収益	
受取利息	337
受取配当金	65
その他	782
営業外収益合計	1,186
営業外費用	
支払利息	2,010
為替差損	55
その他	404
営業外費用合計	2,470
経常利益	△71,850
特別利益	
受入助成金	158,648
特別利益合計	158,648
特別損失	
固定資産除却損	1,502
雇用調整支出金	223,353
その他	13,418
特別損失合計	238,274
税引前四半期純利益	△151,476
法人税、住民税及び事業税	2,982
法人税等調整額	△62,412
法人税等合計	△59,430
四半期純利益	△92,046

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	115,910
減価償却費	40,724
のれん償却額	71,360
減損損失	85,059
ソフトウェア償却費	7,158
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,835
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△359,045
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28,568
受取利息及び受取配当金	△1,970
支払利息	9,138
固定資産除却損	1,746
売上債権の増減額 (△は増加)	519,416
前受収益の増減額 (△は減少)	1,769
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,055
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,702
未払金の増減額 (△は減少)	△19,488
未払費用の増減額 (△は減少)	△82,719
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,151
その他	6,352
小計	355,016
利息及び配当金の受取額	1,688
利息の支払額	△8,904
法人税等の支払額	△7,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△17,426
無形固定資産の取得による支出	△32,568
貸付金の回収による収入	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△394,480
長期借入金の返済による支出	△74,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469,424
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,997
現金及び現金同等物の期首残高	1,102,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	923,999

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料]

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,781,641
II 売上原価	5,265,321
売上総利益	1,516,319
III 販売費及び一般管理費	1,627,563
営業損失	△111,244
IV 営業外収益	7,848
V 営業外費用	7,839
経常損失	△111,235
VI 特別利益	—
VII 特別損失	70,865
税引前四半期純損失	△182,101
税金費用	△63,662
四半期純損失	△118,438

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年9月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前四半期純損失(△)	△182,101
2 減価償却費	20,843
3 貸倒引当金の増加額	1,563
4 賞与引当金の減少額	△163,511
5 退職給付引当金の増加額	23,532
6 受取利息及び受取配当金	△7,784
7 支払利息	6,620
8 固定資産除却損	638
9 投資有価証券評価損	499
10 ソフトウェア償却費	7,452
11 のれん償却費	52,003
12 売上債権の増加額	△136,337
13 たな卸資産の減少額	3,278
14 仕入債務の減少額	△15,820
15 前受収益の増加額	1,951
16 未払金の増加額	11,389
17 未払費用の増加額	51,064
18 未払消費税等の減少額	△40,645
19 未収還付税金の増加額	△109,369
20 その他	△21,315
小計	△496,045
21 利息及び配当金の受取額	6,900
22 利息の支払額	△7,241
23 法人税等の支払額	△148,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	△644,678

	前年同四半期 (平成20年9月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 投資有価証券の売却による収入	100,498
2 有形固定資産の取得による支出	△22,439
3 無形固定資産の取得による支出	△1,027
4 営業譲受による支出	△388,495
5 貸付による支出	△430,000
6 貸付金の回収による収入	430,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,363
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	635,800
2 長期借入による収入	200,000
3 長期借入金の返済による支出	△25,020
4 株式の発行による収入	500
5 配当金の支払額	△82,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	728,597
IV 現金及び現金同等物の減少額	△227,444
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,642,360
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,414,916

6. 四半期毎の推移

平成21年9月期

	第1四半期 平成20年10月～ 平成20年12月		第2四半期 平成21年1月～ 平成21年3月		第3四半期 平成21年4月～ 平成21年6月		第4四半期 平成21年7月～ 平成21年9月	
		千円		千円		千円		千円
売上高	2,221,088		1,760,400		1,326,969		—	
売上総利益	518,924		692,473		302,707		—	
営業利益	38,468		322,162		△70,565		—	
経常利益	33,893		323,086		△71,850		—	
税引前四半期純利益	32,690		234,695		△151,476		—	
四半期純利益	15,056		135,921		△92,046		—	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり四半期純利益	265	89	2,400	26	△1,625	46	—	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
		千円		千円		千円		千円
純資産	2,277,490		2,413,381		2,321,452		—	
総資産	4,255,123		3,577,479		3,161,897		—	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり純資産	40,218	45	42,618	17	40,994	78	—	—
		千円		千円		千円		千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,908		172,516		47,961		—	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,677		△2,856		△23,426		—	
財務活動によるキャッシュ・フロー	322,592		△409,008		△383,008		—	
現金及び現金同等物期末残高増減額	418,823		△239,348		△358,472		—	

平成20年9月期

	第1四半期 平成19年10月～ 平成19年12月		第2四半期 平成20年1月～ 平成20年3月		第3四半期 平成20年4月～ 平成20年6月		第4四半期 平成20年7月～ 平成20年9月	
		千円		千円		千円		千円
売上高	2,264,227		2,220,284		2,297,128		2,301,308	
売上総利益	487,002		541,693		487,623		614,901	
営業利益	△47,321		10,666		△74,589		114,850	
経常利益	△45,544		11,174		△76,864		112,204	
税引前四半期純利益	△45,829		△20,131		△116,140		34,716	
四半期純利益	△30,865		△10,827		△76,745		22,826	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり四半期純利益	△545	25	△191	23	△1,355	43	403	13
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
		千円		千円		千円		千円
純資産	2,355,639		2,344,701		2,239,610		2,262,393	
総資産	4,426,764		4,269,042		4,459,055		4,072,584	
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭
1株当たり純資産	41,598	50	41,405	35	39,549	52	39,951	85
		千円		千円		千円		千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	△257,870		30,115		△416,923		226,680	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345,574		△59,003		93,215		△57,432	
財務活動によるキャッシュ・フロー	589,138		△310,240		449,699		△481,168	
現金及び現金同等物期末残高増減額	△14,307		△339,127		125,990		△311,920	